

第1回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日 時

平成21年3月18日(水) 午後2時40分～午後3時40分

2. 場 所

箕面市役所 委員会室

3. 出席者

(会 長)

- ・箕面市副市長 奥山 勉

(副会長)

- ・箕面市長公室長 中井勝次
- ・大阪大学大学院工学研究科教授 新田保次

(監 事)

- ・街づくり支援センターみのお 清田栄紀
- ・箕面商工会議所専務理事 盛山喜弘

(委 員)

- ・大阪大学大学院工学研究科准教授 松村暢彦
- ・大阪大学大学院工学研究科助教 猪井博登
- ・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部長 上村正美
- ・阪急バス株式会社自動車事業部長 西山 哲
- ・社団法人大阪タクシー協会常務理事 井田信雄
- ・阪急バス労働組合副執行委員長 勝 正雄
- ・みのおの交通を考える会 永田よう子
- ・粟生第二住宅自治会長 吉田敏子
- ・自転車ネットワーク公募市民 松木 亮
- ・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 田村正喜
- ・共同企業体SSOK組合営業本部 セネルマネージャー 松村 明
- ・東急不動産株式会社箕面マーケットプレイス 総支配人 滝川隆文
- ・株式会社ビバーレコト ビバーワルト 箕面船場 統括マネージャー 米津秀春
- ・学校法人大阪青山学園事務部経理課長 福田貴夫
- ・有限会社箕面自動車教習所取締役総務部長 桐村敏昭
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局 首席運輸企画専門官(総務企画) 下畑賢治
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送)安東完爾
(代理出席) 運輸企画専門官 阿部康二
- ・大阪府都市整備部交通道路室参事 井出仁雄
- ・箕面市都市環境部長 山田 学
- ・大阪府箕面警察署交通課長 西村富士夫

- ・箕面市教育委員会事務局教育次長 重松 剛
- ・箕面市健康福祉部長 吉田 功
- ・箕面市都市計画部長 伊藤哲夫
- ・国土交通省近畿運輸局企画観光部 交通企画課長 堤俊哉（オブザーバー）
（代理出席）交通企画課専門官 松崎義廣

（欠 席）

- ・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第二課長 中村香澄
- ・大阪府池田土木事務所維持管理課長 福森世志夫
- ・国土交通省近畿運輸局自動車交通部 旅客第一課長 下谷富雄（オブザーバー）

以上、委員 31 名のうち 29 名出席、オブザーバー 2 名のうち 1 名出席。

4. 議 題

- （ 1 ）規約の制定について
- （ 2 ）副会長及び監事の指名について
- （ 3 ）諸規程の制定について
- （ 4 ）事業概要及びスケジュールについて
- （ 5 ）調査実施計画認定申請について
- （ 6 ）業務委託について

5. 議事要旨

- （ 1 ）規約の制定について
意見、質疑なし。
原案どおり承認する。
- （ 2 ）副会長及び監事の指名について
規約第 7 条第 3 項及び、第 4 項の規程に基づき指名する。
- （ 3 ）諸規程の制定について
意見、質疑なし。
原案どおり承認する。
- （ 4 ）事業概要及びスケジュールについて
毎年見直しを行うのか。

実証運行状況を調査しながらその状況を見て、ルート等について見直しを毎年実施する。
平成 21 年度は、協議会、分科会で議論し、連携計画をとりまとめ、平成 22 年度から実証実験を実施する。その後は、経過を見ながら見直し内容を協議会に諮り事業を進めていくのか。

はい。（協議会に見直し内容を諮り事業等を進める。）

分科会の公募市民の募集方法について、選出の条件、資格等は整理済か。

分科会の委員となる公募市民については、24 名を考えている。地域、年齢、属性等の具体的な公募条件・方法や応募多数の場合の選出方法など、今後詳細を決定していく。

公募市民の応募が 24 人以下の場合、二次募集はあるのか。

基本的に、声かけをするなりして定員 24 名となるようにしたい。定員以下となった場合、二次募集を実施し、定員どおりとするか決めていない。

原案の内容を基本に進める。

(5) 調査実施計画認定申請について

委員から具体的に修正の指摘を受けていることの報告があったが、内容は何か。

資料 6 の 2 ページ「 1 .」に現況の詳細内容と課題を明確に。また「 2 .」の計画策定調査の必要性を具体的に記載することである。

原案をもとに事務局において、加筆、修正を加え、近畿運輸局へ申請することとする。

(6) 業務委託について

資料 7 の 1 ページ、 2 .(2) 大阪府下を大阪府域とすべき。

府域に訂正する。

原案をもとに意見を踏まえ、進める。